

平成 26 年 2 月 26 日

報道関係者各位

神奈川県相模原市南区古淵二丁目 14 番 20 号
ブックオフコーポレーション株式会社
代表者 代表取締役社長 松下展千
(コード番号:3313 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 堀内康隆
電話番号 042-769-1511

**東北にいかなくともできる支援活動
「本・CD・DVD・ゲームソフトを売って、被災地の移動図書館を応援しよう」プロジェクト
活動実績報告**

～震災から約 3 年間で 12 万冊の本が集まり、560 万円の寄付金となりました～

ブックオフコーポレーション株式会社(本社:神奈川県相模原市、代表取締役社長:松下展千)の子会社であるブックオフオンライン株式会社(所在地:神奈川県横浜市、代表取締役社長:柳重光)は、運営する宅配買取サービス「宅本便」(以下「宅本便」という)を通じて、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会(所在地:東京都新宿区、会長:若林恭英)と共同で「本・CD・DVD・ゲームソフトを売って、被災地の移動図書館を応援しよう」プロジェクトを 2011 年 8 月より開始。2014 年 1 月末日で一般の方から 689 人、企業 32 社から、合計 120,158 点が集まり、総額 5,113,111 円となり、この金額に当社より 10%相当額を上乗せした金額を移動図書館活動に寄付いたしました。

【背景】

2013 年 10 月に行った調査によると、全国の調査対象者の 59.5%が、東日本大震災に関連して募金、被災地物品の購入、現地でのボランティア活動などの支援活動を行いました。支援活動を行わなかった人の理由としては、「資金的な余裕がない」、「何をしたらいいかわからない」、「多忙」、「情報がない」等が挙げられていました。(出展「東日本大震災における共助による支援活動に関する調査報告書」平成 25 年 10 月)

当プロジェクトは、「気軽に」「簡単に」そして「長期的に継続できる」ボランティア活動・CSR 活動を目指して、2011 年 8 月より開始いたしました。

【「本・CD・DVD・ゲームソフトを売って、被災地の移動図書館を応援しよう」プロジェクトとは】

当プロジェクトは、不要になった本、CD、DVD、ゲームソフトを段ボールに詰め、インターネット経由でお申度いただくだけで、運送会社が所定の場所、時間に無料で集荷に伺い、買取金額に買取金額の 10%相当額を当社が上乗せした金額が寄付金となります。

詳細⇒http://www.bookoffonline.co.jp/files/guide/vehicular_library_eq2011.html

<活動実績>

活動開始日 : 2011年8月
申込件数 : 一般689人、企業・団体32社(459件)
買取金額 : 一般合計2,763,256円 企業合計2,349,855円
買取金額合計 : 5,113,111円
当社からの寄付金 : 上記買取金額の10%相当額

<主な参加企業様>

「移動図書館」の支援プログラムは長期的・継続的に出来るCSR活動として、多くの企業・団体様にご参加いただいております。

- ・DOWAホールディングス株式会社様
- ・日本電気株式会社(NEC)様
- ・株式会社NTTデータ様
- ・サクサホールディングス株式会社様
- ・株式会社損害保険ジャパン様
- ・東京コカ・コーラボトリング株式会社様
- ・日本興亜損害保険株式会社様

その他25社・団体。

詳細は以下サイトよりご確認ください。

http://www.bookoffonline.co.jp/files/guide/vehicular_library_eq2011.html

【公益社団法人シャンティ国際ボランティア会とは】

1981年にタイのカンボジア難民キャンプで子どもたちに絵本を提供することから活動を開始。現在、タイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ、アフガニスタンに活動拠点を置き、図書館を通じた子どもの教育支援を中心に活動しているNGO団体です。

【東北3県で行っている「移動図書館活動」とは】

「移動図書館活動」とはシャンティ国際ボランティア会が2011年7月より行っている被災地支援活動です。1,500~2,000冊の本を積んだ車で仮設団地を巡回し、ひとつの仮設団地を2週間に1度のペースで訪問。本の貸し出しだけでなく、図書館車のそばに机やイスを並べて、お茶のみやおたのしみの場づくりを行っている取組です。

詳細は別添「移動図書館活動について」をご確認ください。

《このプレスリリース・画像使用に関するお問い合わせ先》

ブックオフコーポレーション株式会社

コーポレートコミュニケーション部：上之原匡・塚田恭子・小湊貴治

TEL：042-750-8588 Email：ccinfo@bookoff.co.jp

【別添】

シャンティ国際ボランティア会による移動図書館活動について

【被災地での図書館の状況】

東日本大震災により、沿岸部の図書館は津波による大きな被害を受けました。公立図書館では図書が流出し、建物の損壊も激しい状態でした。

現在は、徐々に図書館サービスが再開されつつありますが、被災されたすべての方がこれまで通りに利用できる状況ではありません。仮設住宅にお住まいの場合、アクセスの悪さなどから、公立図書館を利用できなくなってしまったという方も大勢いらっしゃいます。



2011年5月 岩手県陸前高田市立図書館

【東北3県で行っている移動図書館活動】

シャンティ国際ボランティア会は2011年7月より移動図書館活動を開始。1,500~2,000冊の本を積んだ車で仮設団地を巡回しています。ひとつの仮設団地を2週間に一度のペースで訪問しており、本はひとり5冊まで借りられます。本の貸し出しだけでなく、図書館車のそばにキャンプ用のタープを広げ、その下に机やイスを並べて、お茶のみやおたのしみの場づくりを行っている取組です。

仮設店舗で営業を再開された書店さんや新たに書店を開いた方を応援しようと、新しい本は、地元書店を中心に購入しています。

【求められている本は変化します】

2011年は慣れない仮設住宅の生活を潤すために園芸や料理の本が貸し出されました。また日本全国から来てくれたボランティアがどこから来たのか確認したい、お礼を伝えたいと、地図や手紙の本を探す方もいらっしゃいました。

2012年の3月以降「自分の身に何か起こったのか知りたい」と震災関連の写真集や本が貸し出されました。しかし、読みたい人がいる一方で、いまだに、ページを開くことができない方もいらっしゃいます。「やっぱり、手を動かさないと、時間を持て余してしまうし、何より嫌なことを考えてしまう」と手芸の本のニーズも多いです。

2013年は「どこに住むか」が話題の中心となり、法律、家づくり、ビジネスの本が多く貸し出されるようになりました。

その時々で人が必要としている情報は異なります。それに応えられるように本の購入を行っています。

移動図書館利用者の声

- ・ 山崎豊子さん死んじゃったね。あの人の本も読んでみたいけど、どれも冊数が多いんだよね。
- ・ 魚釣りの本を借りて行った。その仕掛けで結構魚釣れた。また借りて行くべか。
- ・ 「痩せる」本って沢山あるのに、何で「太る」本ってないのかしらね。…痩せているおばあちゃんの悩み。
- ・ 家づくりの本もって違うの読みたいんですけど、ありますか？良かった！本格的に家の事、勉

強しないとね。

- ・ この本を借りていくべ、きみまるの本こりやおもしろー。みんなを笑わせることも出来る。笑っての方が良い。
- ・ 私は緑内障を患ってしまって、今では細かい字が見えづらいので花の写真の本があれば見たいな。
- ・ 私は、漫画も読むし小説も読む。本があれば何でも読む、退屈はしないよ。外に出るのは本屋さん(移動図書館)が来た時だけ。
- ・ 今度建てるのは平屋になると思う。高齢者に優しい家づくりの本とかがあれば助かる。
- ・ 孫来てるんだけど、どんなのが良いのか分からなくて。これ(音の出る本)借りていきます。楽しく遊んでたから。
- ・ 最近寝る前に本を読んでいるの、読んで寝ると寝つきが良いのよ。
- ・ ね～、泣ける本ある？なんか泣ける本が読みたくなっちゃたからさ、2～3冊チョイスしてくれない？よろしくね。
- ・ パッチワークの本ないですか？支援物資で貰った服があわないのでリメイクして使いたいの。
- ・ 震災の時本を全部流された、今は気持ちも落ち着いてきてようやく本をゆっくり読めるようになりました。



【被災地での移動図書館活動 撮影取材について】

随時、承っております。

ご希望の場合は、以下シャンティ様ご担当者までお問合せください。

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

広報課 鎌倉 幸子様

TEL:03-6457-4586 FAX:03-5360-1220

E-mail: kamakura@sva.or.jp

ホームページ: <http://www.sva.or.jp/>